

発行所 〒160-0017
 東京都新宿区左門町11番地6の101
 一般社団法人 大学女性協会
 電話 03-3358-2882
 FAX 03-3358-2889
 http://www.jauw.org
 E-mail: jauw@jauw.org
 発行人 阿部 幸子
 編集責任者 端本 和子

J A U W

おもな記事

- 1面～3面 会長あいさつ、第一回定時会員総会特集、第一回定時会員総会報告、支部長名簿、他
- 4面～5面 事業紹介、支部だより、他
- 6面 守田科学研究奨励賞論文概要、国際奨学事業報告、人材育成事業報告、ロゴマーク決定
- 7面 守田科学研究奨励賞贈呈式・募集要項、国内奨学生募集要項、他
- 8面 2011年度貸借対照表、2012年度収支予算書、他

第1回定時会員総会特集

一般社団法人への移行を完了

皇月晴れの美しい東京で一般社団法人大学女性協会の第1回定時会員総会が行われた。出席者161名(出席支部24支部)がJAUWの新しい出発を祝い、各支部からは新たな息吹が感じられた。

一般社団法人 大学女性協会

第1回定時会員総会議事録

開催日時：2012年5月13日(日) 10:00～12:10
 開催場所：都市センターホテル「オリオン」(千代田区平河町2丁目4番地1号)
 正会員現在数：1,059名
 定足数：530名

出席者：出席者数161名 議決権行使出席者数481名 計642名
 出席支部：札幌・秋田・仙台・新潟・茨城・栃木・群馬・長野・東京・神奈川・静岡・愛知・金沢・福井・京都・奈良・大阪・神戸・岡山・広島・大分・熊本・福岡・長崎
 以上24支部
 欠席支部：小樽・函館・福島・岐阜・山口・愛媛・高知・鹿児島 以上8支部
 理事出席者：青木怜子 阿部幸子 高田武子 市川知恵子 田辺光子 中山正子 牧島悠美子 鷲見八重子 岩村道子 西村寿美子 端本和子 小澤紀子 城倉純子 桑折美子 宮下好子



新しい時代を拓く

会長 阿部 幸子

大学女性協会は、本年の4月1日に一般社団法人への移行を完了し、新たな出発をいたしました。青木怜子会長が初代の代表理事としてのスタートでしたが、5月13日に行われた第1回定時会員総会で新役員への交代があり、会長・代表理事を引き継ぐことになりました。国の法人改革に沿って行われた社団法人から新法人への移行は、理事会及び特別委員会のメンバーによる5年に及ぶ長期

間の作業を必要としましたが、私もそのメンバーの一員として実務作業に携わって参りましたので、一般社団法人としての体制づくりと、本部・支部の一体化による事業の推進を引き続き担当することが私の責務であると思ひ、微力ながら会長をお引き受けすることになりました。会員の皆様のご指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。さて、一般社団法人は、自律的な運営

監事出席者：加藤恭子 野瀬久美子
 議事録の作成：青木怜子

司会 副会長 高田 武子

I. 会議開始

I. 総会成立確認

2012年5月13日、午前10時現在の出席者数147名、有効議決権行使数481名、合計628名となり、定款第4章第17条に基づき、正会員現在数1,059名の過半数530名以上の出席により、総会が成立することを確認する。

I. 開会の辞

I. 議長承認

定款第4章第16条により、青木怜子会長が議長となる。
 承認
 I. 黙 禱 逝去会員8名の冥福を祈って、一同起立、黙禱。

I. 書記選出

本部：桑折美子・宮下好子 承認

I. 議事録署名人名選出

承認

I. 一般社団法人移行についての経過報告

阿部 幸子
 2012年4月1日に、一般社団法人 大学女性協会の登記完了の報告があった。2006年6月以来、法人選択の方向について協議を重ね、2008年度、2009年度は定款の変更の案の策定、新法人としての機関設計を検討。2010年度の総会で一般社団法人へ移行することを承認。2011年度の総会で「定款変更の案」、定款関連規程、並びに移行認可申請等々について承認。2011年7月22日に電子申請による申請手続き。10月に内閣府公益認定等委員会による審査を受け、10月14日に認可が決定。2012年3月21日付で移行認可書の交付、登記手続を行う。以上の経過報告があった。



第1回定時会員総会 都市センターホテル「オリオン」にて (2012年5月13日)

I. 議事

第1号議案 2011年度事業報告
 各担当理事より、定時会員総会議案書「第1号議案」2011年度事業報告」に基づき提案説明がなされた。

1. 総務報告(会務報告) 総務 宮下 好子

2. 事業報告

1. 調査・研究及び啓発・提言

調査・研究担当 鷲見八重子

(1)セミナー・シンポジウム・公開講演会の開催 (13)福井支部 シンポジウム

7月23日「誰が担当?地域で支える高年齢者介護」出席98名を追究

(2)調査・研究 3)教育委員会に記載されている (2)JAUWを代表して国際

婦人年連絡会の教育・マスメディア委員会に参加を削除

2. 国内奨学金の授与・研究奨励のための表彰 国内奨学担当 岩村 道子

3. 国際奨学金の授与・国際協力のための女性人材育成 国際支援担当 西村寿美子

4. IFUW並びに国内外の女性団体等との協働 国際ネットワーク担当 牧島悠美子

UWA タイ総会のお知らせ

国際委員会
 人材育成委員会

第9回 UWA タイ総会 2012年11月16日～18日 バンコクにて
 “Roles of Women as Peace Makers”
 「平和構築の担い手としての女性の役割」

発表希望者は2012年10月1日までに、参加希望者は2012年11月5日までに国際委員会を通して申し込みをお願いします。
 なお、この会議に参加して発表を希望する方若干名に対し、JAUW人材育成委員会では渡航支援を行います。支援を希望する方は所定の申請書に必要な事項を記入し、本部事務所人材育成委員会まで申し込んで下さい。

*詳細は JAUW のウェブサイト「人材育成委員会」のページを参照。

- ・10) 静岡支部 6. に記載されている名称ユニフォームを「UN Women」に変更
- 5. 会報及び図書・資料集等の刊行及び広報 広報担当 端本 和子
- 6. 会員等の親睦及び啓発、その他会員活動 支部担当 城倉 純子
- 7. 本部・支部の総会、会議等の開催 総務 桑折 美子
- 8. 会員の状況(2012年3月31日現在の正会員数) 総務 桑折 美子

第2号議案 2011年度決算報告及び監査報告
 会計 市川知恵子・田辺 光子
 監事より、定時会員総会議案書「第2号議案」2011年度決算報告―貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記」に基づき提案説明がなされた。

監査報告 監事 加藤 恭子・野瀬久美子
 監事より、定時会員総会議案書「監査報告書」に基づき、社団法人大学女性協会の2011年度(2011年4月1日から2012年3月31日まで)における業務及び会計の監査が4月16日になされた旨報告があった。

事業監査報告 監事 加藤 恭子
 (監査方法と概要)
 理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務の報告を聴取し、議事録その他関係書類の閲覧など必要と思われる監査方法により、事業計画に基づく業務執行の妥当性について監査した。
 (監査意見)
 事業報告書の内容は事実であると認める。理事の職務執行に関する不正の行為、または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

会計監査報告 監事 野瀬久美子
 (監査方法と概要)
 予算書を参考に、収支について帳簿並びに関係書類の閲覧照合など、必要と思われる監査手続により計算書類の正確性について監査した。
 (監査意見)
 財務諸表(正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録)は適正に作成されており、本社団体の本事業年度の正味財産増減の状況及び本事業年度期末現在の財産の状態を正しく示しているものと認める。

議長は、第1号議案「2011年度事業報告」ならびに第2号議案「2011年度決算報告及び監査報告」についての質問・意見を求めたのち、同議案への承認を議場に諮ったところ、同議案は異議なく承認可決された。

高田特設委員長より、東日本大震災災害地支援のための高校生奨学金について報告があった。
 ・募金額合計 4,483,786円
 JAUW会員 3,232,327円
 IFUW会員 519,048円
 (含 Hegg Hotel 奨学金 300,000円)
 一般(個人・団体) 346,900円
 チャリティコンサート収益 385,019円

2011年8月に5名の奨学生を決定、9月から奨学金毎月1万円を各奨学生に授与。現在も継続中。
 引き続き、青木会長がこの事業への会員の協力に對し、謝辞を述べた。

第3号議案 2012年度事業計画
 各担当理事より、定時会員総会議案書「第3号議案」2012年度事業計画」に基づき提案説明がなされた。
 1. 調査・研究及び啓発・提言 調査研究担当 鷲見八重子
 ・2012年度シンポジウムの開催日、場所について決定の報告があった。
 開催日：2012年10月14日(日)
 場所：日本女子大学 桜楓2号館

- 2. 国内奨学金の授与・研究奨励のための表彰 国内奨学担当 岩村 道子
- 3. 国際奨学金の授与・国際協力のための女性人材育成 国際支援担当 西村寿美子
- ・文化交流委員会 1. 「歌舞伎鑑賞教室」観劇：6月10日(土)を9日に訂正
- 4. IFUW並びに国内外の女性団体等との協働 国際ネットワーク担当 牧島悠美子
- ・静岡支部登録団体 名称ユニフォームを「UN Women」に変更
- 5. 会報及び図書・資料集等の刊行及び広報 広報・情報担当 端本 和子
- 6. 会員等の親睦及び啓発、その他会員活動 支部担当 小澤 紀子
- 7. 本部・支部の総会、会議等の開催 総務 桑折 美子

以上、第3号議案に対し議長から質問・意見を求めたところ、会員の減少に対する増強策、2012年度新法人移行に伴う今年度の大きな目標、国際会議参加のための人材育成等について議場から発言があった。次いで議長が、第3号議案「2012年度事業計画」についての承認を議場に諮ったところ、同議案は異議なく承認可決された。

第4号議案 2012年度収支予算
 財務理事 中山 正子

財務理事より、定時会員総会議案書「第4号議案」2012年度収支予算―正味財産増減計算書ベース、正味財産増減計算書ベース(内訳表)に基づき提案説明がなされた。

次いで議長が、第4号議案「2012年度収支予算」についての質問・意見を求めたところ、補正予算等への質問があり、そのうち、承認を議場に諮ったところ、同議案は異議なく承認可決された。

第5号議案 会長候補者の選出並びに理事・監事の選任 総務 桑折 美子

理事・監事の全員が本定時会員総会の終結と同時に任期満了につき改選を要するため、役員選考委員会に関する規程」に基づき、役員候補者の選考が行われ、田中正子役員選考委員会委員長による選考経過についての報告があったのち、桑折理事より理事候補者12名、および監事候補者2名の提案があった。尚、全会員に候補者の推薦を依頼。理事および監事候補者の選考結果は、第1回定時会員総会招集「通知(2012年4月20日全会員に発送済み)」に掲載

議長は、定款第5章第22条第1項に基づき、第1回定時会員総会議案書記載の理事・監事候補者の選任を議場に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し下記の通り選任可決した。尚、被選任者は、いずれもその席上で就任を承諾した。

記

- 理事 阿部 幸子 (再任)
- 理事 柏木 京子 (新任)
- 理事 佐々木澄子 (新任)
- 理事 城倉 純子 (再任)
- 理事 鷲見八重子 (再任)
- 理事 高田 武子 (再任)
- 理事 田辺 光子 (再任)
- 理事 西村寿美子 (再任)
- 理事 牧島悠美子 (再任)
- 理事 森川 淳子 (新任)
- 理事 小澤 紀子 (再任)
- 理事 鈴木キミエ (新任)
- 理事 大森たへ子 (新任)
- 理事 野瀬久美子 (再任)

第6号議案 任期中の理事・監事の欠員を補充する案

議長は、第6号議案「任期中の理事・監事の欠員を補充する案」について、提案理由を説明した上で、その案が最終的には定款第22条に抵触することからこれを撤回したいとする案を議場に諮ったところ、異議なく承認可決された。

以上をもって第1回定時会員総会のすべての議案の審議を終了し、議事に関する総会の閉会を会場に伝えた。
 以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人名2名は下記に記名押印する。
 2012年5月13日

一般社団法人 大学女性協会 第1回定時会員総会
 議長 青木 怜子 印

議事録署名人名 阿部 幸子 印

議事録署名人名 高田 武子 印

一般社団法人 会員総会(午後の部) 記録
 開催日時：2012年5月13日 13:15~15:45
 開催場所：都市センターホテル「オリオン」
 司 会：阿部幸子 高田武子

新理事の担当発表

阿部新会長より、2012年度第2回通常理事会が開催され、定款第5章第22条2項、理事会職務規程第3条、第4条に基づき、会長(代表理事)の選定及び副会長、業務執行理事並びに担当理事の選定が行われた旨の報告があった。
 出席者：全理事(12名)、監事(2名)、各役職名は下記の通りである。

記

- 会長(代表理事) 阿部 幸子
- 業務執行理事 高田 武子
- 副会長(企画担当) 牧島悠美子
- 副会長(総務担当) 田辺 光子
- 総務 森川 淳子
- 財務 鈴木キミエ
- 会計 柏木 京子
- 担当理事 鷲見八重子
- 調査・研究担当 鷲見八重子
- 奨学事業担当(兼任) 西村寿美子
- 国際支援担当 城倉 純子
- 国際ネットワーク担当 佐々木澄子
- 広報担当 小澤 紀子
- 支部担当(東京支部) 鈴木キミエ
- 支部担当 大森たへ子
- 監事 野瀬久美子

新会長挨拶

司会 会長 阿部 幸子・副会長 高田 武子

I. 懇談

- (1) 一般社団法人の組織と現状について説明があった。
- (2) 2012年度シンポジウムについて 副会長 高田 武子
- テーマ：男女共同参画社会の形成と教育
 開催日：2012年10月14日(日)
 開催場所：日本女子大学 桜楓2号館
- (3) 支部・委員会の活動について 各支部長・各委員長

- ① 出席各支部長(含副支部長、代理)より支部活動についての報告がなされた。
- ② 2012年度第2回通常理事会において選任された事業、会員、広報、情報、国際、国内NGO、女性の地位、教育、国内奨学、社会福祉、科学研究奨励、国際奨学、人材、文化交流の各委員会委員長(含代理)より委員会活動についての報告がなされた。
- (4) その他

- ① UWA会議開催について、支部へチラシ配布と説明 CIR 穂田 信子
- テーマ「平和構築の担い手としての女性の役割」

日程 2012年11月16日~18日
 場所 バンコク

- ② 国会議員にクオータ制導入を求める運動にJAUW他複数の団体がその呼びかけ人となっていることの報告 青木 怜子
- ③ VGF (Virginia Gildersleeve International Fund) への理解と活動についての説明 平野 和子
- ④ 今年退任の理事・監事の紹介があり、謝辞が述べられた。 阿部 幸子

I. 次期総会開催地について 青木 怜子
 前総会開催地岡山支部への謝辞に続き、第2回定時会員総会は、2013年5月19日愛知において開催することを報告

I. 次期総会開催承認の挨拶 愛知支部長 寺田 純子

I. 総会運営委員長挨拶 運営委員長 阿部 幸子

I. 閉会の辞 副会長 高田 武子

2012年度 シンポジウム 「男女共同参画社会の形成と教育」

日時：2012年10月14日（日）
 場所：日本女子大学・新泉山館（国際交流施設）
 〒112-8681 東京都文京区目白台1-19-10
 TEL 03-3943-3131（日本女子大学総務課）
 ・JR 目白駅から徒歩約15分
 ・都営バス 新宿駅西口行き
 乗車：目白駅前バス停、下車：日本女子大前
 ※都営バス 日本女子大学直行バスは日曜日運休
 ・東京メトロ副都心線「雑司ヶ谷」下車徒歩8分
 ・東京メトロ有楽町線「護国寺」下車徒歩10分

日程 9：30～ 開会・あいさつ
 9：40～10：50 基調講演Ⅰ
 東京学芸大学学長 村松泰子氏
 題「男女共同参画社会に資する学校教育・大学とは」
 10：55～12：05 基調講演Ⅱ
 前千葉県知事・元参議院議員 堂本暁子氏
 題「女性の政治参加、災害と男女共同参画」
 13：00～14：45
 シンポジウム1「男女共同参画社会と教育」
 各委員会・支部活動報告と意見交換
 14：50～16：35
 シンポジウム2「女性の政治参加」
 各委員会・支部活動報告と意見交換
 16：40 閉会
 多くの皆様のご参加をお待ちしています。

久保陽子ヴァイオリンコンサート

事業委員会コンサート係 鷲見 八重子

総会の前日、5月12日（土）津田ホールで開催された久保陽子ヴァイオリンコンサートは、JAUW新法人スタート記念にふさわしい高揚感と和やかな空気に満たされた素晴らしい演奏会となった。

久保さんといえば早くも1960年代にパリに留学しパガニーニ国際コンクールやロンティボー国際コンクールで2位に入賞され、その後もずっと世界的な演奏活動を続けてこられた。とくに私たち同世代には憧れのヴァイオリニストだ。このたびはJAUWの活動に賛同され、久保さん特愛の名曲を9曲も選んで情熱と魂を注いで弾いてくださり、一曲ごとに琴線が震える感動をおぼえた。

プログラムはクライスラーの「プニャーニの様式による前奏曲とアレグロ」に始まり、ヴィエニャフスキ2曲、パガニーニと続く。百武恵子さんの優しく寄り添うようなピアノ伴奏が心地よい。難曲で知られるパガニーニの「24のカプリスより」から3曲弾かれるときは、「さあ、パガニーニ先生を弾いてこなくては」と、舞台の袖で一呼吸おいてから出ていかれた。演奏はいつも一回限りの出会いのようなものだ。久保さんの熱い思いが聴衆の心にどう届いたか、それは目には見えないが不思議なことに会場の空気感がちがってくる。



演奏をする久保陽子さん

休憩をはさんで後半のサンサーンスも、バッハの「パルティータ第3番」も、すばらしい至福の時であった。最後はサラサーテの「ツイゴイネルワイゼン」。心が弾み、会場に大きな拍手と笑顔があふれた。

久保さんはギャラをすべて当協会の東日本被災高校生支援事業に寄付して下さい、望外の嬉しいプレゼントに感激！そして青木怜子会長からの感謝とアンコール、「ユーモレスク」と「タイスの瞑想曲」の余韻を胸にホールをあとにしました。

2012年度 支部長名簿

支部名	氏名
小樽	江子
札幌	好孝
函館	藤田百合子
秋田	吉田口森
仙台	谷地涼
福島	林裕子
新潟	高博
茨城	増渕民映
栃木	植原映か
群馬	野村紀子
東京都	小市川いづみ
神奈川県	岡田純
愛知県	柳生裕子
岐阜県	田中川慶子
金沢市	水片上岡
東京都	奈良良藤
大阪府	戸山加真吉
山梨県	山島口
愛媛県	高知分
北海道	大熊和
福岡県	鹿嶋

2012年度 理事・監事名簿

役職名	氏名
会長	阿部幸子
副会長	高田武子
副会長	牧島悠美子
総務	田辺光子
財務	森川淳子
計	柏木京子
調査研究担当	鷲見八重子
国内奨学担当	鷲見八重子
国際支援担当	西村寿美子
国際ネットワーク担当	城倉純子
広報担当	佐々木澄子
支部担当	小澤紀子
支部担当	鈴木キミエ
監事	野瀬久美子
監事	大森たへ子

【敬称略】



祝賀会で支部紹介する茨城支部



総会パザー風景



総会風景

国際委員会から

国際委員長 旦 まゆみ

〔奨学金〕奨学金の額についてIFUWから調査の依頼があり、各支部を含めた奨学金総額について昨年調査したところ、2009年度は11支部から811,730円、2010年度は12支部から1,109,740円の奨学金が授与されたと集計結果が出ました。本会の国内奨学金と国際奨学金の合計は、2009年度は総額450万円、2010年度は490万円に上ります。JAUWでは毎年総額500万円以上の奨学金を授与していることになりました。IFUW全体では、年間200万ドルを超える額になったとの紹介がIFUW Update 7 June 2012にも載っています。各支部会員の皆様のご協力に感謝いたします。

〔第9回UWAタイ総会〕
 2012年11月16日～18日 バンコクにてページ(1)のお知らせをご覧ください。
 〔第31回IFUWイスタンブール総会〕
 2013年8月16日～21日
 学際セミナー発表者募集（応募締切り2012年8月31日）
 Interdisciplinary (ID) Seminars
 “Women’s role in achieving a sustainable future: Education, urbanization, violence and human rights”
 「持続可能な未来のための女性の役割：教育、都市化、暴力と人権」
 ＊詳しくはIFUWまたはJAUWのウェブサイトをご覧ください。

総会と祝賀会場風景

第1回定時会員総会報告

運営委員長 阿部 幸子

今年度の全国総会は、新法人としてのスタートに当たっていただきましたので、東京支部の協力を得て、本会主催で行いました。

総会は、5月13日都市センターホテル5階会議室を会場として開催、午前10時から12時10分までは第1回定時会員総会、午後は3時半までの約2時間、例年通りの懇談の時間をもちました。総会受付では、実行委員会の発案により参加者全員に紅白饅頭が配られ、一般社団法人として初めて迎えた定時会員総会を参加者161名全員で祝うことができました。

総会終了後、4時より階上の別室で119名が参加して新法人発足祝賀会が催されました。今井元会長のご発声で乾杯、会食に移ってから、法人の移行準備を温かく見守ってくださった元会長・副会長の皆様方のご挨拶、出席支部の紹介などがあり、会場は少し手狭でしたが、立食形式なので参加者の緊密な交流もでき、和やかな雰囲気での祝賀・懇親会となりました。

総会前日、12日の午後1時から津田ホール1階会議室で開かれた支部長会では、短い時間でしたが今後の支部運営に必要な情報伝達、質疑が行われました。引き続き行われた支部長・委員長合同会議は、今回、特別に設けられたもので、公益目的支出計画についての説明や、支部と本部委員会とが協働して行う調査・研究活動の在り方など特に継続事業についての意見交換が行われ、支部長からの活発な発言があり、今後の事業展開に期待がもたれました。

5時からは、総会関連行事として、津田ホールで「祝賀記念コンサート」が開催されました。このコンサートは新規事業委員会による企画でしたが、会員の皆様の多大なるご支援をいただき、50万円を超える収益を得ることができましたこと、感謝申し上げます。また、久保陽子様からは出演料を東日本大震災災害地支援事業にご寄付いただきましたこと、紙面を借りて厚く御礼を申し上げます。



祝賀会で挨拶する阿部運営委員長

事業紹介

調査・研究事業

新法人の継続事業とは？一支部長・委員長合同会議の報告から一

事業担当理事 鷲見 八重子

一般社団法人に移行後の移行法人の事業は、公益目的支出計画により行われます。申請にあたり、私たちは定款に基づく4つの継続事業を目標にかかげました。そのひとつが「啓発・提言」事業であり、定款第5条の(1)にある「女性の教育の向上、福祉の推進及び男女共同参画社会形成に向けての調査・研究及び啓発・提言」となります。

継続事業は「継続性」と「公益性」が問われます。その点、当協会は1946年の創設以来、社会の先進的テーマを掲げて調査・研究の成果を世に問い、会報や報告書により関係各省ならびに関係団体に向け提言を行ってきました。特に、1981年から2004年まで24年間にわたり文部科学省の国庫補助事業として、毎年秋にシンポジウムあるいはセミナーを開催し、教育、高齢者福祉、環境、ICT社会、女性のエンパワメントとジェンダー平等、国際理解と平和の課題等々、つねに時代

に先駆けて多岐にわたる啓発と提言を行ってきた経緯があります。

認可・監督にあたる内閣府からハナマルを頂戴した堂々たる内容です。ただ、公益性を高めるためには、一般の人々にも「啓発・提言」が届くよう広報のありかたを工夫する必要があるでしょう。また、全国に支部をもつ大学女性協会としては、その利点を生かすよう支部とのさらなる協働が求められます。その意味で2010年度からスタートした教育委員会を中心とする「ジェンダーの視点から家庭科教育を考える」をテーマに行う意識調査は、8つの支部が協働する初めての試みであり、どのような分析結果を発信できるか楽しみなところではあります。

継続事業の原資は、おもにこれまで先輩方が苦勞して貯めてこられた資産(古いお財布)でまかなわれます。こうして、世のため人のためになる事業が継続できる喜びを、会員のみなさまと一緒に分かち合いたいと願っております。

教育委員会

委員長 長田 満江

日本の女性の地位が国際的に低位にあるのはなぜなのか。教育に負うところが大きいのではないのか。

教育委員会は「ジェンダーの視点から家庭科教育を考える」をテーマに、昨年は高等学校の家庭科教科書の中でジェンダーがどのように扱われているかを検討した。今年は高校生、大学生及び家庭科教員にアンケート調査を行い、家庭科教育の実態と生徒の平等意識・ジェンダー理解について分析することになっている。アンケート調査はJAUWの7つの支部及び数人の個人会員との協働の下に実施されている。7支部とは、愛知・茨城・岡山・金沢・奈良・福井・福岡の各支部で、他に神奈川支部の3人が個人として協働研究に参加する。アンケート対象の生徒数は支部によって差はあるものの、約1,000人程度で、教育委員会が扱うアンケート数を含め、総数10,000人近い人数となる見込み。

家庭科の授業の中で平等教育がどの程度実践されているのか、生徒の平等意識やジェンダー理解を深めるような教育になっているのか、もしそうでないとしたら、今後の家庭科教育をどう変えていくべきなのか、アンケートの集計・分析を通して明らかにしたいと考えている。この面で協働して下さる支部や関心のある方が居られたら、是非参加して欲しいと切に願っている。

社会福祉委員会

委員長 縄田 眞紀子

当委員会の役割は、「社会福祉に関する調査を行いその増進を図り、併せて社会福祉奨学金に関する事項を行う。」です。

その一つ「社会福祉に関する調査を行いその増進を図る。」では、福祉教育を取り上げ2011年度セミナーにおいて、「高等学校家庭科に見る福祉教育の現状」について報告しました。調査期間は2年でした。5出版社の教科書の読み比べと検討、國學院大学栃木短期大学准教授亀井佑子先生と千葉県立鎌ヶ谷高等学校教諭石島恵美子先生を講師に迎え勉強会を2回開催、続いて高等学校3校(男女共学)の家庭科の授業を参観しました。

これらを通して、人生を考え始める高校生にとって、「生きる力」という理念の共有、基礎的・基本的な知識・技術の習得と実践、思考力・判断力・表現力の育成が欠かせないこと、それには男女共修の家庭科教育の果たす役割が大変大きいことを痛感しました。家庭科の男女共修世代が増えるにつれ、家庭生活の男女の役割の柔軟化や男女共同参画意識が高まり、ひいては地域社会、企業社会、一般社会でのあり方もさらに改善されることが期待されます。

今年度も福祉と学校教育をテーマに取り組み、福祉の増進につなげていきたいと考えます。

ご興味のある方は是非ご参加ください。

女性の地位委員会

委員長 平井 和子

女性の地位委員会は、女性の地位に関する調査・研究を行い、その向上を図ることを主な目標としています。具体的な主な活動には、JAUWのセミナー、シンポジウムに参加する他、次の3つがあります。第一に毎年、国連の女性の地位委員会(CSW)は、翌年に向けてテーマを発表しますが、それに沿って、私達女性の地位委員会は、調査・研究を進めます。今年のテーマは、「女性と女兒への暴力の防止と根絶」(2013年度)です。本委員会はこのテーマに今までも取り組んできましたが、今回は、更に具体的に、ハーグ条約と家庭内暴力並びにデートDVの面から、研究を始めています。第二に本委員会は、国際人権規約完全実施促進連絡会議に代表を送り、難民、慰安婦、脱原発、人権規約一般、国際組織犯罪防止条約等につき、順次意見交換を重ね、関係省庁に提出する要望書を作成しています。第三に本委員会は、日本女性監視機構の団体役員として、若い女性をCSW及び関連国連会議に送り出すことに力をそそいでいます。現在は「リオ+20」、「男女共同参画と災害・復興2012」等に関わっています。調査・研究を進めていく過程で昨年7月には、「90年以降の農山村女性の地位の変化と課題」のテーマで篠崎正美氏を講師に公開講演会を開きました。このテーマは2012年のCSWのテーマに沿っています。今年も、まだ講演会を行うかどうかについては、検討中です。

2012年度 委員会名簿

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
事業委員会	会員委員会	広報委員会	情報委員会	国際委員会	国内NGO委員会	女性の地位委員会	教育委員会	国内奨学委員会	社会福祉委員会	科学研究奨励委員会	国際奨学委員会	人材育成委員会	文化交流委員会
委員長 加藤 恭子	委員長 秋月 薫	委員長 端本 和子	委員長 松鹿 光	委員長 且 まゆみ	委員長 五十嵐康子	委員長 平井 和子	委員長 長田 満江	委員長 岡部 佳世	委員長 縄田眞紀子	委員長 今野美智子	委員長 廣田 里子	委員長 青木 怜子	委員長 堀 美知子
井口美登利 岩田 良子 大川 薫代 大森たへ子 奥津 成子 齊藤 智恵 佐々木洋子 鈴木美代子 鷲見八重子 関口 瑞穂 太刀川洋子 中山 正子 中山 律子 縄田眞紀子 野口紀美子 早瀬 暢子 藤谷 文子 細田 照子 松崎 和子 松村美枝子 森川 淳子 八ッ橋宣子 山崎 邦子 山村 敬子	磯村 明子 後藤 晶子 庄司 ヨシ 西田 節子 橋本津栄子 福田 文子 堀口 裕子 三浦由紀子 溝渕ひろ子 関口 瑞穂 太刀川洋子 中山 正子 中山 律子 縄田眞紀子 野口紀美子 早瀬 暢子 藤谷 文子 細田 照子 松崎 和子 松村美枝子 森川 淳子 八ッ橋宣子 山崎 邦子 山村 敬子	穂田 信子 岩田 玲子 尾上 夏子 柏木 京子 小池 朋子 佐々木澄子 早瀬 暢子 日置 恵子 松本 佳子 百束 礼子 山崎 邦子	遠藤 理枝 岡部 佳世 福田 満代 宮下 好子	穂田 信子 栢森 公子 速水 葉子 平川 敦子 平野 和子 廣田 里子 藤村久美子 村木 晴子	伊藤智恵子 長田 満江 城倉 純子 田中 正子 田辺 光子 野瀬久美子 牧島悠美子 松鹿 光 松比良節子 丸山 庸子 望月 浪江 矢鋪 真澄 柳堀 朗子	大塚佐枝美 上川 陽子 加納 孝代 高田 素子 田中 正子 野田 恭子 林 輝子 廣野 桂子 増淵 民子 丸山 庸子 柳本祐加子 山下いづみ 山本 和代 和田 安代	秋月 薫 石川 良美 大森たへ子 向後紀代美 後藤 晶子 下村 辰枝 関井 友子 田中 正子 端本 和子 橋本 慶子 東山セツ子 福田 文子 牧島悠美子 松岡 幸子	秋光 正子 今井 けい 岩村 道子 小澤 紀子 冠木 敦子 窪田 憲子 坂上栄美子 鷲見八重子 高梨 禮子 辻 英子 中村 昌美 縄田眞紀子 平間 充子 松崎 園子 森川 淳子	磯村 明子 伊藤智恵子 遠藤 理枝 木原 優子 桑折 美子 駒木三枝子 児林 英子 柴 加奈子 鈴木 光子 玉井美枝子 長岡 茂子 中平 玲子 中山 律子 二木 睦 林 幸子 望月 浪江	蟻川 芳子 稲葉 カヨ 岩村 道子 小野 幸子 加藤美砂子 香取 浩子 熊谷 晶子 櫻木 裕子 西澤 直子 浜崎 浩子 江里	市川知恵子 岩村 道子 加納 孝代 古山みゆき 佐々木澄子 真田 雅子 田中 正子 時枝 裕子 西尾 順子 浜崎 浩子 平野 和子	坂上栄美子 鷲見八重子 時枝 裕子 西村寿美子 野瀬久美子 平間 充子 広瀬 晴子 廣田 輝子 村木 晴子 山下いづみ	磯村 明子 大森たへ子 加藤 恭子 川崎 協子 草薙美智子 橋本 慶子 橋本 慶子 宮下 好子 百束 礼子 八木 真澄 矢鋪 真澄

最近の札幌支部

札幌支部長 加藤 好江

札幌支部は今年発足65周年を迎えて祝賀会を行いました。厳しい環境下での会設立への熱い情熱と尽力、その歴史を知り、会への想いを新たにいたしました。また、記念品の紅筆は会員に喜ばれました。

会員の減少が進みますが、研修・文化・国際・報道の4委員会による例会は毎年充実した内容で企画・実行しています。昨年度は札幌市民防災センター見学、フィンランド女性の講演会「女性の目で見つめたフィンランド社会と教育」、会員の「かな書社中展」鑑賞会、読書会「こころの声を聴く」河合隼雄対話集、「皇帝の愛したガラス展」鑑賞会をしました。どの会でも、豊かな時を過ごせたという満足感があります。今年の第1回例会は、北海道初上陸という「大原美術館展」鑑賞会でした。参加18名で団体特典の学芸員の解説を聞くことができて好評でした。

新潟支部活動見直しのあれこれ

新潟支部長 小林 裕子

ご多分にもれず、新潟支部も会員の減少に歯止めがかからず、現在の会員数は10年前の1/2の46名。活動の見直しが急務と考え、会員にアンケート調査を実施、それを踏まえて次のような取組を始めた。

1. 例会活動の見直し
従来どおり年間10回の例会を開催する。高齢者に関する問題を取り上げるなど、テーマの幅を広げるが、それもJAUWらしい切り口で。また、親睦旅行、奨学賞のつどいや忘年会など、従来全額参加者負担だったものに支部活動費を支出、参加しやすいものにする。一般市民にも参加してもらう公開例会を年に一度は開催する。
2. 支部奨学金の増額と推薦から応募への変更
奨学賞としての3万円から奨学金5万円に増額。

加えて、従来は大学に奨学生の推薦を依頼していたが、今年から応募形式に改め、単に成績上位者あるいは人望云々ではなく、JAUWの活動目

会員が講師などの中心となって月1回開催しています。支部HPを見たと言って参加者があるのは嬉しいことですし、広報紙「ミニ・ニュース」が171号を迎えたことも誇りです。この3月に9年ぶりに発行した記録誌「あゆみ8号」は、誌面の構成に至るまで編集委員のパソコンで行いました。いざとなると、驚異の力量を発揮する頼もしい仲間が集う札幌支部であると感じています。とはいえ、新会員の獲得にはやはり苦労するところです。



発足65周年祝賀会

支部だより

的にふさわしいテーマによる小論文で募集することとした。

3. 本部との連携
かつて個人的に依頼して本部役員を招いて公開例会を開催した経験から、もっと緊密に本部との連携を図れないものかと考え、本部役員による講師の一覧表の作成を依頼。このほど実現し、早速9月の公開例会で牧島悠美子副会長からクオータ制についてお話いただくことになった。

かねて本部の活動との温度差を痛感していた地方支部にとつて、得難い刺激であり、本部のご理解とご協力に感謝している。



2011年度大学女性協会全国セミナーで発表-10月15日

岡山支部からこんにちは

岡山支部長 真 邊 和 美

私たちは会員64名でスタートをきりました。「(一社)JAUWの新定款に支部活動も整合性を持たせる」「役員会、委員会、同好会等々の内、自分のやりたい活動を選んで参画する」「JAUWの歴史を共有する」という3点を運営の基本方針にしています。できる人ができる場に行ける活動を楽しんで自発的に進んでいます。総会での基本方針決定後は、委員会も同好会も役員もそれぞれが責任をもって企画運営を行っていますので、同時並行で実に多くの活動が進行しています。(※下記)まるで本部並みでしょうか！言い換えれば、会員一人ひとりが力を発揮できる場がいつもあるのです。休んでいる暇はありません。団体とは目的に向かって働き動いているものという定義を読んだことがあります。JAUW会員一人ひとりが素晴らしい力を持っています。使われないなんて実に「もったいない」「限りです。」「今度はあるね!」「ああ、期限がくる!」等と、JAUWの名を誇りにそれぞれが頭と身体を常

豊の国から

大分支部長 和田 輝 美

大分は温泉や海の幸、山の幸そして人の心の幸にも恵まれた豊の国です。会員は二十四名で、教育や医療関係者が多いです。

年間行事は、まず春に総会。議事等終了後、卓話があります。講師はできるだけ会員にお願いしています。次に講演会ですが、本年度は別府大学利光教授の「東南アジアにおけるイスラムの歴史と文化」の講演です。秋には県内各地に研修旅行に行きます。昨年度は別府大学井上教授のご尽力により、フランス総領事ご夫妻の歓迎夕食会(別府杉乃井ホテル)に十名程、参加させていただきました。ご夫婦共、気さくな方でした。(夫人は日本人)冬には外国人留学生との交流会があり、前述の井上教授にお世話願ひ、別府大学で日本語を学んでいる学生に、日本語で故郷や文化等の紹介や研究発表する場を提供した後、懇親会を行っています。月二回の源氏物語講座の講師は会員の柏田知子先生です。年度末には会報クオラレを刊行(現在十五号まで)。会務報告の他、紀行文や

- 《岡山支部活動概要》
- 総会
 - 役員会 (随時)
 - 委員会 (総務・国際・企画、各随時)
 - 臨時部会 (家庭科調査)
 - 定例会 (4回)
 - 会員研修会 (4回)
 - 市民向け公開講演会 (3回)
 - 見学会 (3回)
 - 外国人弁論大会 (1回)
 - 同好会 (古典・パソコン・歴史・英語・俳句、各月1回)
 - 本部諸活動への積極参加 (随時)
 - *さくらランプの会 (元支部長会)



第28回外国人による日本語弁論大会

に動かし、ストレスが溜まるくらいがいいのかもしれない。活動が目の前に常にあることが、岡山支部の元気の源なのではないか。

随筆など会員の原稿を掲載しています。先輩から代々受け継いでいる「居心地の良い会」の雰囲気」が大分支部の自慢です。



外国人留学生との交流会

《理事会から》

- 2012年度国際奨学生2名が決定。
- 2012年度東日本大震災災害地支援奨学金受給者は、高校1年生2名、3年生2名が決定。継続5名と合わせて9名に支給する。
- JAUWの活動紹介用リーフレットを作成、全会員にも配布する。
- シンポジウムのプログラムを決定。会場を日本女子大学 新泉山館に変更。企画・運営委員会により運営される。

事務所の

夏休みのお知らせ

8月11日(土) ~19日(日)
事務所は夏期休業いたします。

新入会員(理事会承認) 2012年1月~7月

- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| 茨城支部
長沼 早苗 | 京都支部
塩尻 かおり | 福岡支部
豊福 美代 |
| 群馬支部
群馬 好子 | 大阪支部
片岡 みか | 松藤 泰代 |
| 東京支部
亀田 好子 | 田島 節子 | 大分支部
濱田 彩美 |
| 阿部 啓子 | 平敷 允子 | 熊本支部
佐方 宏子 |
| 栢森 公子 | 神戸支部
鈴木 陽子 | 峠 小百合 |
| 樋口 佳子 | 林 由貴子 | 長崎支部
川崎 涼子 |
| 山下 玲子 | 三科 綾 | 中尾 理恵子 |
| 神奈川支部
速水 葉子 | 岡山支部
金 恵淑 | |
| 静岡支部
石原 良江 | | |



阿部会長（中央）、両受賞者を囲む関係者（2012年5月26日）

第14回 守田科学女性協会 贈呈式 研究奨励賞

第14回守田科学研究奨励賞の贈呈式が、5月26日にアルカディア市ヶ谷で行われた。受賞者は、塩尻かおり博士（生態学）と藤田 恵博士（腎臓・内分泌学）である。

塩尻博士は1996年北海道大学農学部を卒業、2001年京都大学大学院農学研究科博士課程を修了し博士号（農学）を取得されている。米国カリフォルニア大学、京都大学生態学センターなどで研究をつまね、2010年より京都大学白眉センター特定助教となられている。

藤田博士は1997年に東京大学医学部医学科を卒業、2004年東京大学医学部大学院医学系研究科博士課程を修了、博士号（医学）を取得されている。

科学研究奨励委員会委員長 今野 美智子

る。東京大学医学部附属病院の専任研究員、医員などを経て2006年に東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科の専任助教となられている。

賞の授与に引き続き両博士の受賞講演が行われた。塩尻博士は植物の匂い成分の生態系における役割、藤田博士は脳内酸化ストレスと高血圧との関連のお話を、参列者にとってたいへん興味深かつかりやすくお話しくださった。第13回守田賞受賞者の島田 緑博士や受賞者ご家族にも出席いただいた祝賀会は終始なごやかな雰囲気、参加者皆が楽しく交流することができた。

一般社団法人 大学女性協会 2012年度国内奨学生募集要項

大学女性協会国内奨学金は、優秀な女子学生に学資を給付し、その勉学と研究活動を奨励することを目的として、会員その他の寄付によって1948年に設立されたものである。本奨学金は一般奨学金・社会福祉奨学金・安井医学奨学金の3部門からなる。なお一般奨学生および社会福祉奨学生から、女性、教育、国際関係分野の研究を行う者1名をホームズ奨学生とする。

ホームズ奨学金は、大学女性協会の創立に貢献したアメリカ人女性ルル・ホームズ氏を記念して、1952年に設立されたものである。安井医学奨学金は、医師安井潤氏の遺族による寄付を基に、1991年に設立されたものである。

I 応募資格

- 一般奨学生 文部科学省の認可する大学の大学院に在籍1年以上の女子学生で、学業人物ともに優れた者。
 - 社会福祉奨学生 文部科学省の認可する大学の学部・大学院に在籍1年以上の女子学生で、身体に障害があり、かつ学業人物ともに優れた者。
 - 安井医学奨学生 文部科学省の認可する大学の大学院に在籍1年以上の女子学生で、医学・薬学を専攻し、かつ学業人物ともに優れた者。
- 備考 ・1大学から各部門1名ずつ応募することができる。
 ・過去に当協会の奨学金を支給された者は、再度応募することはできない。
 ・在籍年数に休学期間は含まない。
 ・社会福祉奨学生は、身体障害者手帳の交付を受けていること。

II 支給額及び募集人数

- 一般奨学生 大学院生 20万円 6名
 - 社会福祉奨学生 学部生 10万円
 - 安井医学奨学生 大学院生 30万円 1名
- 備考 ・応募状況により奨学生人数を変更することがある。
 ・奨学金は1回限りである。

III 提出書類

- (ホームページからダウンロードして使用のこと)
- 履歴書（写真貼付）
 - 一般社団法人大学女性協会国内奨学生推薦書
 ・記入者は在籍する大学の学長・学部長・学科長・指導教員のいずれかであること。
 ・学長氏名・印又は奨学金担当者職名・氏名・印が必要。
 - 研究・勉学の内容について
 ・大学院生は様式A
 ・学部生は様式B
 - 研究および活動業績リスト
 ・大学院生のみ
 - 学業成績証明書
 ・在籍する（直近に在籍した）大学院（学部生は大学）のもの
 - 身体障害状況報告書と身体障害者手帳の写し
 ・社会福祉奨学生のみ
- 備考 ・(1) (2) (3) (4) (6) は、所定の様式に従う。

IV 応募方法および締切り

応募者は、応募書類を在籍大学へ提出する。大学は一括して2012年8月31日（金）（当日消印有効）までに、東京都ならびに本協会支部が設置されていない県の大学は本協会本部に、支部が設置されている道府県の大学は当該支部に応募書類を提出すること。

V 結果通知

選考結果は、本人・大学学長・推薦支部長に2012年11月末日までに通知する。

VI その他の留意事項

- 一般奨学金、社会福祉奨学金、安井医学奨学金を授与された者は2014年3月31日までに本協会会長宛に「研究成果報告書」を提出すること。
- 国内奨学金贈呈式は2013年1月の予定。（詳細は後日通知する）
- 東日本大震災被災者は、その旨を履歴書・自己紹介書の該当欄に記載することができる。
- 不明の点は当協会又は当該支部に照会のこと。

一般社団法人 大学女性協会
 会長 阿部 幸子
 国内奨学委員長 岡部 佳世
 社会福祉委員長 縄田真紀子

〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6の101
 TEL 03-3358-2882 FAX 03-3358-2889
 e-mail : jauw@jauw.org
 ホームページ http://jauw.org/

第15回 大学女性協会守田科学研究奨励賞

受賞候補者募集要項

趣旨 本賞は、化学教育者・故守田純子氏から遺贈された資金をもとにして、自然科学を専門とする女性科学者の研究を奨励し、科学の発展に貢献する人材を育成することを目的として、1998年に設けられたものです。

対象 自然科学分野において、優れた研究成果をあげており、科学の発展に貢献することが期待される40歳未満（応募締切日現在）の女性科学者を対象とします。

授賞件数 年 2件 以内

賞状および副賞50万円を贈呈します。

提出書類 1. 研究題目とその概要、今後の展望および抱負（A4判2頁以内）

- 推薦状
- 履歴書（写真貼付）
- 研究業績リスト

4. 主要な論文5編以内の別刷り、それぞれ3部（論文別刷りはコピーでも可、返却しません）

応募締切日：2012年11月30日（金）（必着）

選考結果の通知：2013年3月

書類送付先・連絡先：一般社団法人 大学女性協会
 〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6-101
 Tel : 03-3358-2882 Fax : 03-3358-2889
 http://www.jauw.org
 e-mail : jauw@jauw.org

事業委員会からお知らせ

- ☆ ミニバザーとオープンルームを大学女性協会事務所で開催いたします。毎月第1水曜日 11時～13時30分（8月と1月はお休み）どなたでもお気軽にお立ち寄り下さい。お待ちしております。
 - ☆ 観劇の予定 日時と演目決定次第募集のご案内を致します。お知らせをご希望の方は事務所までお申し出下さい。お送りいたします。
 10月23日（火）国立劇場 歌舞伎 坂東三津五郎主演「塩原太助一代記」12時開演 1等B席 6,100円 先着20名（締切8/28）
 11月21日（水）国立能楽堂「狂言の会」6時30分開演 正面 4,500円 先着15名（締切9/20）
 ・トナカイオペラ 11月「ラ・トラヴィアータ」
 ・歌舞伎 12月（中村吉衛門主演）1月（尾上菊五郎主演）
 - ☆ 見学会の予定 2013年4月 小石川植物園見学（講師案内付）
- お問い合わせ、お申し込みは事務所まで Tel : 03-3358-2882



本社 新宿区四谷3の7
 電話 03(3359)0111

支部交流・親睦旅行へのお誘い

今年も支部交流・親睦旅行を下記のように企画いたしました。今回は大学女性協会の25支部の中で最西端の長崎支部を訪ねて、異国情緒あふれる名所旧跡を2泊3日で巡る旅へお誘いいたします。

長崎支部を訪ねて2泊3日の旅

日時：2012年11月26日(月)～28日(水)
スケジュール(全行程バスを利用。天候、道路状況等により若干の変更もあります)
第1日：長崎空港(11:00)ー長崎駅前(11:40)ー史跡料亭花月にて昼食ー三菱重工史料館ー長崎原爆資料館ー車窓より浦上天主堂などー二十六聖人殉教地ールークプラザホテル
第2日：大浦天主堂ーグラバー園ー孔子廟ー四海楼にて昼食(長崎ちゃんぽん)ー西海パルシーリゾート(九十九島遊覧船に乗船)ー佐世保駅ー旅亭平戸彩月庵
第3日：生月博物館島の館ー生月大観音ー平戸観光(松浦史料博物館・ザビエル記念教会)ー平戸海上ホテルにて昼食ー平戸物産館ー佐世保駅ー長崎空港(16:50予定)ー長崎駅(18:00予定)
参加費：おおよそ55,000円(30名参加の場合)
宿泊費(夕食、朝食付)、昼食3回 入園入場料、バス代金をふくみます
オプションとして五島列島観光1泊2日(11月29～30日、教会巡りを中心に貸切タクシーで現地巡礼ガイド付き観光)もご用意しております。ご希望の方はお申し出下さい。

申込み締切：2012年9月10日(キャンセルは11月5日まで)
電話またはファックスで事務所にお申し込みください。グループでの参加も大歓迎です。参加人数が決まり次第、お申し込みの方に詳しいご案内をお送りいたします。

申込み・問い合わせ：(一社)大学女性協会事務所まで
Tel: 03-3358-2882 Fax: 03-3358-2889

(一社)大学女性協会
事業委員会

東日本大震災災害地支援事業のご報告

皆様から貴重なご寄付をいただき、高校生奨学金の事業を運営出来たことを感謝申し上げます。
心からお礼申し上げ、会計報告をいたします。

Table with 2 columns: Category (e.g., 本部会計より, JAUW 会員から) and Amount (円). Includes sub-totals for 2011年度 and 次年度への繰り越し金.

※奨学生5人(3年生3名、1年生2名)
3年生は無事卒業し3名の進学が決定しましたので、今後2年間の支援を続ける予定です。
また、年度を超しましてから女性コーラスグループから35万円、新法人スタート記念コンサートのバイオリニスト久保陽子様から30万円のご寄付がありました。
今後も入金口座はそのまま開設しておりますので、引き続きご支援をよろしくお願いたします。
特設委員会委員長 高田武子

2011年度 貸借対照表

平成24年(2012年)3月31日現在

(単位:円)

Balance Sheet table with columns: 科目, 当年度, 前年度, 増減. Divided into 資産の部, 負債の部, 正味財産の部.

2012年度 収支予算書(正味財産増減計算書ベース) *

(2012年4月1日～2013年3月31日)

(単位:円)

Large budget table with columns: 科目, 当年度, 前年度, 増減, 備考. Includes sections for 一般正味財産増減の部, 経常増減の部, 経常費用, 経常費用計, 経常増減額, 経常費用計, 経常増減額, 指定正味財産増減の部, 正味財産期末残高.

*この予算書は6月2日に理事会で承認された補正予算書です